

大気降下物採取・分析スケジュール

別紙1

作業日		作業内容
○	令和6年 4月 1日 ~ 2日	3月分回収及び4月分設置
	~ 19日	3月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 5月 1日 ~ 2日	4月分回収及び5月分設置
	~ 20日	4月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 6月 3日 ~ 4日	5月分回収及び6月分設置
	~ 20日	5月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 7月 1日 ~ 2日	6月分回収及び7月分設置
	~ 19日	6月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 8月 1日 ~ 2日	7月分回収及び8月分設置
	~ 20日	7月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 9月 2日 ~ 3日	8月分回収及び9月分設置
	~ 20日	8月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 10月 1日 ~ 2日	9月分回収及び10月分設置
	~ 18日	9月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 11月 1日 ~ 5日	10月分回収及び11月分設置
	~ 20日	10月分前処理及び分析・報告
○	令和6年 12月 2日 ~ 3日	11月分回収及び12月分設置
	~ 20日	11月分前処理及び分析・報告
○	令和7年 1月 6日 ~ 7日	12月分回収及び1月分設置
	~ 20日	12月分前処理及び分析・報告
○	令和7年 2月 3日 ~ 4日	1月分回収及び2月分設置
	~ 20日	1月分前処理及び分析・報告
○	令和7年 3月 3日 ~ 4日	2月分回収及び3月分設置
	~ 19日	2月分前処理及び分析・報告

## 分析条件

別紙3

項目	条件	備考
核データ	別紙5「分析対象ピーク一覧」のとおり	別紙5「分析対象ピーク一覧」以外のマスター核データを使用する際は発注者と協議すること
キーラインピーク	別紙5「分析対象ピーク一覧」のとおり	セシウム134の検出判定及び濃度計算には796 keVのピークを用い、荷重平均の値とはしないこと。
バックグラウンド補正	バックグラウンドファイルは直近1か月以内のものを使用する。	
減衰補正	採取終了～測定開始、測定中の補正を行う。	
測定時間	80000秒以上とする。	
供試料量	大型水盤: 5.00E-07km <sup>2</sup> 小型水盤: 8.55E-08km <sup>2</sup>	
核種濃度単位	MBq/km <sup>2</sup>	
検出下限値	Cs-137及びCs-134で、おおむね0.1 MBq/km <sup>2</sup> 以下を担保することとする。	
精度管理	以下のいずれかの条件を満たすこととする	
	・ISO17025を取得していること	
	・公益財団法人日本分析センター又はIAEA等の公的機関による精度管理事業に年1回以上参加していること	